

保存版

令和7年度

きびきのっ子の学習力をぐんぐんのばそう

家庭学習のすすめ

小学校の学習は、将来子ども達が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、より大きな効果が上がると考えます。

本校では、学校で学習した基礎・基本の定着や子ども達が自ら学ぶ力を育むため、学年に応じた家庭学習の時間を決め取り組んできました。その中で、「家庭学習の取り組み方、取り組み内容が分からない」という声も耳にしました。

この「家庭学習のすすめ」は、本校の学力・学習状況調査の結果や子ども達の実態を踏まえて、家庭学習の取り組み方について話し合い、家庭学習のすすめ方をまとめたものです。お子様と一緒にご覧いただき、家庭学習の手助けとしてご活用いただければ幸いです。



金沢市立木曳野小学校

1. 家庭学習をすると・・・

学習内容が定着します

学校で習った学習を家で復習することで習熟・定着が図れます。計算や漢字・音読などは毎日練習することで定着します。学校でやったことが「できる」という自信に変わります。

学ぶ習慣が身につきます

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習を積み重ねていくことが、中学年・高学年・中学校へのスムーズな学習習慣へとつながります。

根気・集中力が身につきます

自分で計画を立てて、継続して実行していくことで、物事に対して根気よく取り組めるようになります。また、決められた時間、物事に集中できるようになります。



家族がふれあえます

音読をしている時におうちの人に聞いてもらったり、わからないことがあったとき教えてもらったり、一緒に調べたりすることで、家族のコミュニケーションが図れます。

家族のふれあいの機会が増えることは精神の安定につながります。

探究心を育みます

学校の授業や普段の生活の中で出合った疑問や、更に詳しく調べたいと思ったことを家庭学習でより深めて勉強していくことで、探究心が育ちます。好奇心豊かな年頃だからこそ、自分から問題を見つけて解決する力を身につけたいものです。

2. 家庭学習の五か条

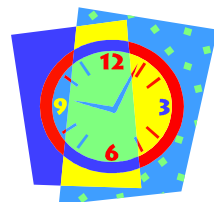
第一条 集中できる環境を整えよう

- テレビやゲーム、スマホやタブレットの電源をオフにしよう
- 学習するつくえの周りはスッキリと！ よけいな物が目に入らないようにしよう



第二条 めやすの時間、集中し続けよう

- 学習する時間を決めよう（帰ってすぐ始めるのをおすすめします）
- よい姿勢で、鉛筆を正しく持って学習しよう
- とちゅうで別のことをせず、一つ一つの宿題に集中して向かおう



第三条 「+1」のある時間にしよう

- 今の自分より1つでもかしく！ そのために、次のようなことをやってみよう
 - ・わからないことがあったら、授業ノートや教科書を読み返したり、おうちの人にたずねたりして、きちんと解決しよう
 - ・宿題が終わってもまだ余裕があるときは、進んで自学に取り組もう
 - ・興味があることについて調べ、自学ノートにまとめてみよう



第四条 見直しをしよう

- 漢字練習や計算練習をしたら、本当に正しくできたかどうか見直しをしよう
- 答え合わせをして、間違えたところをしっかり直そう（低学年は、おうちの方に答え合わせをしてもらってもいいですね）



第五条 明日の準備をしよう

- 時間割表や連絡帳を必ず見て、明日の持ち物をそろえよう
- 筆箱の中身の物がそろっているかもチェックし、鉛筆は全てけずっておこう

